



MONTHLY

# かわせみ通信

1月号

2022年1月

Vol.149

発行所



ECOLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)

TEL.059-332-5122 (代) https://www.tokai-techno.co.jp

## デジタルの示す値は正確なのか～簡便から、より正確さを求めて～

「はかる」を生業にしていると、「はかる」には様々な方法と多くの機器があることを知る。簡単だけど「はかった」結果はそれなりのもの、難しい処理や複雑な操作を必要とするが精度の高い結果が得られるものなど、「はかる」機器は多種多様にある。環境分析の世界では法規制や条例規制を遵守できているかを確認するために「はかる」ことを依頼される。その際、当然ながら「はかる」方法は法律で指定されたものを使用する。例えば、COD（化学的酸素要求量）は、水質汚濁防止法に定められた方法ではかななければならない。決められた方法に基づいて、同じ条件下、同じ方法で「はかった」結果のみが基準値と比較出来るデータとなり、データ値の大小で法律違反と判定されることもあるからだ。そのため弊社では法律の「はかる」方法に変更はないかと官報などに目を光らせている部隊がいる。最近その部隊からこんな報告があった。経済産業省が「二酸化炭素濃度測定器の選定等に関するガイ

ドライン」を策定したというのである。コロナ禍となり目にするようになった、店舗の入口付近に600ppm、650ppmとデジタル表示が動いている、あの計測器が二酸化炭素濃度測定器である。正確さを確保するために、換気状況の確認に用いる測定器を選定する場合の最低限要求される仕様等基準として、「検知原理が光学式を用いたものであること」「補正用の機能が測定器に付帯していること」等と定めたのだ。よく似た「はかる」に、一定規模以上のビル内の換気状況を確認するため、ビル管理法という法律がある。その中では光



年始の深酒、二日酔いにはご注意ください。

学式ではない、検知管法という簡易測定法（光学式でもなく妨害因子に対する補正もない）の使用が許されている。同じ換気状況の確認をする方法であるのに、コロナウイルス感染症防止対策だけに測定器の仕様、いわば「はかる」方法を厳しく指定するのに関心した。そう言えば道路交通法で飲酒運転を取り締まる呼気検査（アルコール濃度測定）は以前、簡易測定器の検知管だったが、現在では光学式の補正機能付きの計器が導入されている。少し計量をかじっている私としては、簡易測定の検知管測定で運転免許制度に関する処罰をするのはいかがなものか…とっていたので、高い精度を持つ計測器導入に安堵した。やはり、人の健康を守ることに直結するデータや、生活環境を保全するために用いるデータには、正確性が求められる。「はかる」に携わる者として、法改正や分析法に敏感であり、真摯に受け止め続けることが必要と考え、今後も「はかる」と向き合っていこうと思う。



### 教えて！ かわせみ先生

#### 尿素水不足で ディーゼル車が 動かない？

今、世の中で不足しているモノの一つに「尿素水」があるね。この「尿素水」は、大型トラックやバスなど「尿素SCRシステム」が搭載されている一部のディーゼルエンジン車に不可欠で、ガソリンメーターと同じように尿素水の残量も表示されるんだ。有害物質である窒素酸化物（NOx）を尿素水と化学反応させることで、NOxを無害な窒素（N2）と水（H2O）に分解し排出させ、大気汚染を守ろうとするシステムなんだよ。尿素を水に溶かしたらよいというものでもなく、JISに定められた品質を確保した製品でないといけないため、当社のような分析会社が品質試験を行っているんだ。そもそも、中国が尿素に輸出制限をかけたことで始まったこの問題だけれど、尿素の国内生産量は約5割。メーカーでの増産や、原料輸入国の切り替えで、この問題は今月中にも解決されるのではないかとされているよ。

### ココに技あり!

#### 今後の主流になっていくのでしょうか… 社内の一部にクラウドフォンを導入

古くなったビジネスフォンの更新時に合わせて、本社及び松阪ACにクラウドフォンを導入しました。クラウドフォンとはクラウド上に主装置を設置し、固定電話および携帯電話等をインターネット環境でつなぐもので、主な導入メリットは次の通りです。

メリット①	お客様からの外線を、外出中の営業員の携帯電話へそのまま転送が可能
メリット②	携帯電話からでも、会社の電話番号発信として、お客様へ連絡が可能
メリット③	拠点間で内線通話が可能、携帯電話からも内勤者のデスクへ直接連絡が可能

特に①はお客様への利点が大きいと期待しての導入でしたが、実際利用してみると外線を転送する為に今まで以上にお客様をお待たせしてしまったり、携帯電話のスペックが低すぎると転送が難しかったり、導入してみないとわからない点も多々ありました。しかしせっかくのクラウドフォンなので、お客様へのサービス向上のため、対応を工夫して活用していきたいと考えています。

### 社員プチコラム

岡村 誠（環境事業本部 四日市分析センター フィールドGr）

エディスリマンというファッションデザイナーをご存知でしょうか？21世紀以降ディオールオムやサンローランパリを爆発的人気にさせた現シリーズのデザイナーです。彼の少年性とロックの融合という信念を体現したファッションがとてもしっくりと、彼がデザインした物だから身に付けたいというマインドで彼の服を愛用しています。見た目も大事ですが、その奥にある作り手の信念や想いのようなものを使い手が汲み取って愛用することも悪く無いなぁと40代になって思えるようになりました。ただお値段がそれなりにするので、ずっと愛用できるエディの服をゲットするために日々の業務を頑張ろうと思います。



### 編集後記

新年の明るい雰囲気も、感染拡大によってまた閉塞感が漂ってきました。昨年より半導体不足が大きく取り上げられるなか、尿素や石炭など新たな不足問題に対して輸入に頼る日本はどう進むのか…。ある方の言葉ですが、「不安を探すより、良いこと探し」新年に共感できる言葉でした。2022年は始まったばかりですね。本年もよろしく願いいたします。（みっちー）

